

1 学期始業式（4月10日）

桜も散り始め、春深しの感が強まってきましたが、気温の変化が激しい日々が続いております。自分自身の体調管理をしっかり行ってください。さて今日から、いよいよ令和5年度が始まります。新しい先生方を迎え、新たな出雲農林高校の船出の日です。明日は入学式があり、みんなの仲間として新たに160名が加わります。

あらためて、みなさん、それぞれ新しい学年に進級おめでとうございます。

新年度スタートのとき、今が、伸ばすチャンス、変えるチャンスのときです。新たな気持ちでスタートしましょう。たとえ前の課題が残っていても、ひとまずそれは置いておき、今を伸ばすチャンスと受けとめ、変えるチャンスと踏み出すことが大切だと思います。心も体も一回り大きく育つ脱皮のために、目標をもって、変身して下さい。

本校のキャッチフレーズはご存じの通り、『見つけよう自分の力の可能性』です。まず、自分のよさを見つけてください。とにかく、日本人は、自己肯定感が低いと言われます。自信を持つためには、自分のよさを自覚することが大事です。人と比べたよさでなく、自分で楽しいと思うこと、自分が好きだと思うこと、そのもの自体がよさになります。もちろん、よさはたくさんあっていいです。いずれそのどれかが、自信と結びつけば、自分だけのよさになっていきます。そして、自分の力となり、可能性が広がっていくと思います。

さて、皆さんも熱狂したと思いますが、侍ジャパンは、ワールド・ベースボール・クラシックの決勝・アメリカ戦で3-2の勝利を飾り、世界の頂点に立ちました。その立役者となった大谷翔平選手は、投打二刀流で圧倒的な成績を残し、MVPを獲得しました。決勝戦の試合前、クラブハウスで大谷選手は仲間に「アメリカに憧れるのはやめましょう」と訴えたそうです。その真意を、「僕らは知らず知らずアメリカの野球にかなりリスペクトの気持ちを持っている。そのまなざしが弱気になることが多々ある。今日だけはそれを忘れて対等な立場で必ず勝つんだという気持ちをみんなを出したかった」と語り、世界一になりたいと本気で思い続けた魂の言葉が選手たちの心を震わせたそうです。チーム全体の志気を高め優勝に導いたと感じさせるエピソードだと思いました。

そうした大谷選手が発した言葉の中には、皆さんにも通ずるモチベーションの作り方のヒントがあると思います。大谷選手の言葉を2つ紹介します。

1つ目は、『できるのは自分で自分を変えること』です。周りを自分の思うように変えたいとは、全く思いません。他の人を変えるのはなかなか難しいし、「自分のために変えてくれ」というのも変な話なので。できるのは自分で自分を変えることだと思いますが、正直、自分のことでさえ変えるのは簡単ではなくて、自分が自分のポジションでできることをやっていくしかありません。その結果として僕の努力を見た人が「自分も頑張ってみよう」と思ってくれたら素晴らしいことだと思うんですけど、それを最初から「お前も頑張れ」というスタンスでは難しいと思っています。誰かに何かをやってくれというより、自分でできることをまずやっていくスタンスのほうが僕には合っていると思います。

2つ目は『これからも新しいことにどんどん挑戦します』です。二刀流は特殊すぎて「無理だろう」という懐疑的な見方をする人が多かったと思います。それでも僕はそれで落ち込むわけではなく、「見てろよ」みたいに反発するわけでもなく、僕にとってポジティブな意味でのモチベーションにしていました。不可能だと思われていればいるほど、それを成功させたら自分に返ってくる達成感は大きくなります。僕はそれで「やってやろう」というチャレンジ精神が出てくるタイプです。それに「無理だろう」という意見がどれだけあっても、僕自身は100%できると信じていました。だから批判や疑いの声も「ありがとう」という感じで前向きに受け止めることができたんだと思います。僕自身、選手としてはまだまだこれからだと思っているので、これからも新しいことにどんどん挑戦していくつもりです。新しいことをどんどん取り入れて、より良い自分になって、より良いプレーをすることを目標にします。皆さんも常に目標を掲げ、新たなことに挑戦しながら目標を更新して、自分のモチベーションを自分で上げていけば、きっと常に成長していけると思います。

以上ですが、ぜひ参考にしてほしいと思います。まず、自分の良さを見つけてください。そして自分でできることをまずやっていく。それができたら、目標を更新しながら新たなことに挑戦することでモチベーションを上げながら、常に成長し続けていってほしいと思います。新年度良いスタートをきってくれることを願っています。